

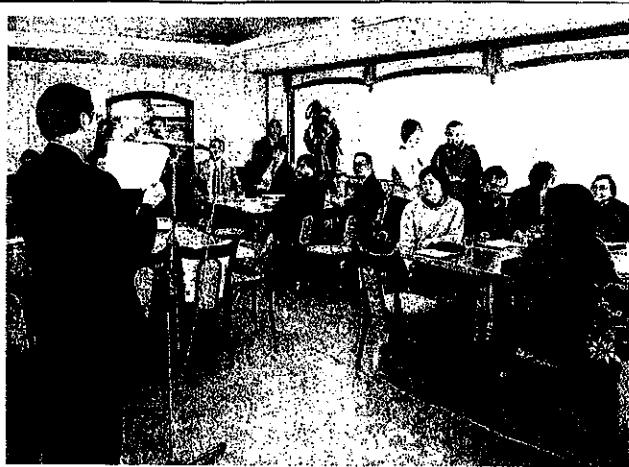
08.1.19

(11) 河北新報

経済

(第三種郵便物認可)

市街地活性化



市民目線で魅力向上 協議会 青森市 慶太と共同事業開始

市民の目線で中心市街地の魅力を探る市民委員会が十六日、青森市内で開かれた。商店街やNPO関係者らでつくる市中心市街地活性化協議会が設立し、慶太コ・モビリティ社会研究センター(川崎市)が事業に協力する。

プロジェクトは暮らしやすさや働きやすさを「生活価値」と名付け、青森市の中心市街地の価値向上を

地の魅力を考える「青森市まらなかマーケティング市民委員会」の発足会が十六日、青森市内で開かれた。商店街やNPO関係者らでつくる市中心市街地活性化協議会が設立し、慶太コ・モビリティ社会研究センター(川崎市)が事業に協力する。

具体的には、市民委員会が二〇〇七、〇八年度の二ヵ年でアンケートや話し合いなどを通して生じた仕組みづくりを提案する。発足会には約三十人が参加。共同代表に、商店主でつくる「青森市街づくりあきんど隊」(工藤健さんと、県男女共同参画センターアビオ内世喜子さんが選ばれた。工藤さんは「市民の考えをまちづくりのヒントにしたい」と抱負を語った。

本記事は河北新報社の著作物であり、無断転載を禁じます。